

福知山市議会 「大志の会」
行政視察研修報告書

- 1 視察日程 令和4年5月23日（月）～5月25日（水）
- 2 視察先及び調査項目
 - （1）長崎県 対馬市
「移住定住対策事業について」
 - （2）長崎県 壱岐市
「移住定住対策事業について」
 - （3）佐賀県 鳥栖市
「地域福祉計画及び地域福祉活動計画事業について」
- 3 参加議員 桐村一彦、馬谷明美 以上2名
- 4 視察経費 総額 170,168円（1人あたり 85,084円）
- 5 調査報告 別紙のとおり

視 察 日	令和4年5月23日（月） 13:30～15:00
視 察 先	長崎県対馬市 人口 28,510人（令和4年4月30日現在） 市面積 707.42km² 議員定数 19人
調査項目 施策・取組等	移住定住対策事業について
視察理由 事前研究等の概要とそれに基づく調査項目・視察先の選定理由等	地方創生に対する最大の問題点は、「人口減少問題」ではありますが、少子高齢過疎化が進む地方行政が取り組む施策事業について、特に「移住定住事業」に力を入れておられる、対馬市の取り組みの実績や課題をお聞きし、福知山市としての指針として参考活用したい。 内陸の地方行政と違い、島国としての行政独自の対策や事業があれば聞きたい。
調査概要 調査項目の施策・取組等の実施状況等	対馬市は、平成16年3月1日に6町が合併して誕生した一島一市の島。暖流である対馬海流が対馬を二分して北流しているため年平均気温は約15℃と比較的温暖である。九州と韓国の間に対馬海峡に浮かぶ島。高齢化率39.3%で人口減少緩和が喫緊の課題。 市内の地域づくり課内に、「しまぐらし応援室（移住定住施策）」を設置し、移住定住者への支援に力を入れている。 対馬は国境の島として古くから大陸文化を受け、風光明媚な自然環境に恵まれており、歴史豊かな風土を物語る文化財・史跡など日本遺産も数多く存在している。島土の約89%が山地であり、各地に原生林がそのまま残されており、一次産業の中で漁業に次いで林業が盛んである。
考察・効果	島という環境から、移住定住への対策に力を入れておられる。都会に比べ、のんびり（のびのび）過ごすことができ、特にアウトドア好きの方には島ぐらしは魅力ながら、移住に際し大きな決心が必要であり、また島ぐらしは意外と生活費がかかり、下見にも旅費など経費が掛かる、との移住者からの声がある。 お互いに知恵を出し合い、協働することにより、地域活性化を図っている。同様の課題がある本市にも参考となる。
・政策提言への反映 ・本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題）	移住定住に対する各種支援補助金活用や対馬市空き家バンク制度への強力推進や交渉支援、移住お試し住宅の積極的活用や定住支援住宅に力を入れておられる。担い手確保や就業者確保について振興局、ハローワークとの連携にも力を入れておられ、本市も同様に地域活性化に向けての人口問題に真剣に取り組む必要があり、移住定住対策など効果のあるものにするために、議論を深めていかなければならない。

視 察 日	令和4年5月24日（火） 10:00～11:30
視 察 先	長崎県 壱岐市 人口 25,171人（令和4年3月31日現在） 市面積 139.42km ² 議員定数 16人
調査項目 施策・取組等	移住定住対策事業について
視察理由 事前研究等の 概要とそれ に基づく調査 項目・視察先 の選定理由等	地方創生に対する最大の問題点は、「人口減少問題」ではありますが、少子高齢過疎化が進む地方行政が取り組む施策事業について、特に「移住定住事業」に力を入れておられる、壱岐市の取り組みの実績や課題をお聞きし、福知山市としての指針として参考活用したい。 内陸の地方行政と違い、島国としての行政独自の対策や事業があれば聞きたい。
調査概要 調査項目の 施策・取組等 の実施状況等	壱岐市は、平成16年3月1日に4町が合併して誕生した一島一市の島。比較的温暖であり、「魏志倭人伝の島」として有名。平成27年度に「国境の島 壱岐・対馬・五島列島の架け橋～」として、日本遺産の認定も受けており「実りの島壱岐」をコンセプトに観光資産のパワーアップに努め、観光振興、外国人観光客誘致、モニターツアーの実施、PR活動に力を入れている。 65歳以上の高齢化率38.7%で人口減少緩和が喫緊の課題であり、壱岐市の移住定住施策として、政策企画課内に「ワンストップ相談窓口」を設置。移住相談や空き家バンク活用促進事業、短期滞在費支援事業、移住支援事業、定住支援事業、民間賃貸住宅整備費補助金交付事業（平成30年度～令和2年度）、定住促進空き家活用事業（令和2年度）、雇用機会拡充事業（有人国境離島法による地域社会維持推進交付金事業）など移住定住者への支援に力を入れている。
考察・効果	島ぐらしへの移住定住対策を参考として、財政上も課題が多いが長崎市の「ながさき移住サポートセンター」との連携を通じた人口減少対策への取り組みは共通する課題であり、本市施策の参考となった。
・政策提言への反映 ・本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題）	長崎県内の合計特殊出生率（H27～H29単純平均）において、1位対馬市2.40、2位壱岐市2.30と合計特殊出生率が高いが出生数は減少。 各種事業を通じて移住定住、人口増加への対策中である。 壱岐市は移住者を含む住民100人を紹介する「壱州人辞典」発行。「壱州」は壱岐国の別名であり100人中31人は移住者。それぞれが壱岐に住んで感じる島の魅力を語っている。よい試みであり本市も参考としたい。

視 察 日	令和4年5月25日（水） 10:00～11:30
視 察 先	佐賀県鳥栖市 人口 73,838人（令和4年4月30日現在） 市面積 71.72km ² 議員定数 22人
調査項目 施策・取組等	地域福祉計画及び地域福祉活動計画について
視察理由 事前研究等の 概要とそれに 基づく調査項 目・視察先の 選定理由等	鳥栖市は、社会福祉協議会と連携し、地域の助け合いによる福祉を推進する町づくりを実施されておられます。さまざまな環境変化の中で「新しい生活様式」が課題となる昨今、鳥栖市の取り組みの実績や課題をお聞きし、福知山市としての指針として参考活用したい。 地方行政としては珍しく人口が増加している市としての、急速な高齢化や子育てに対する福祉のまちづくりについて、独自の対策や事業があれば聞きたい。
調査概要 調査項目の施 策・取組等の 実施状況等	地域福祉計画策定までの流れをお聞きし、高齢化への対策や事業への参考とする。福知山市と同様に陸路交通の結節点となっており、また近年では、鳥栖市をホームタウンとするサガン鳥栖（サッカーJリーグ）や女子バレーボール久光スプリングス（バレーボールVリーグ）のプロスポーツチーム本拠地となっている。人口は市政施行当時（昭和29年）40,176人から継続的に増加している。試算によれば2040年までは緩やかに増加。しかしながら高齢化率は一貫して増加。高齢者福祉への対応を早め早めに考え事業化を始めている。
考察・効果	福岡市という大都会が隣接し、交通の便も良く、立地企業も多く、周辺市町村から鳥栖市へ通勤している人は2万人以上となっている。中でも久留米市からは5千人超と非常に多くの人が通勤し、周辺地域の雇用の受け皿となっている。
・政策提言への反映 ・本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題）	高齢化社会への対応は共通する課題であり、人口減少対策への取り組み同様に本市施策の参考となった。議論を深め政策提言に繋げていきたい。 補足情報として、新庁舎建設工事が庁舎隣接地で始まっており、新年度より活用予定。